

授業科目名	疾患別理学療法Ⅶ（内部障害①）	授業形態	講義	配当学期	2年（前期）
担当教員名	沖田 任弘	単位数	1単位	時間数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>呼吸器疾患の病態について学び、それに必要な評価項目をあげ、理学療法の目的と方法とそのリスク管理について学ぶ。</p> <p>〔学習目標〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 呼吸器疾患の理学療法の概要を理解する。 2. 呼吸器疾患の病態を生理学、解剖学、運動学の観点より理解できる。 3. 呼吸器疾患に関する基本的な評価技術を理解し実施できる。 4. 呼吸器疾患に関する基本的な治療技術を習得し実施できる。 				
授業回数	授業内容				
第 1 回	呼吸器系の解剖と運動（講）				
第 2 回	呼吸生理①（講）				
第 3 回	呼吸生理②（演）				
第 4 回	呼吸機能の評価（講）				
第 5 回	呼吸器疾患の評価①（講）				
第 6 回	呼吸器疾患の評価②（講）				
第 7 回	呼吸器疾患の評価の実際①（演）				
第 8 回	呼吸器疾患の評価の実際②（演）				
第 9 回	呼吸理学療法総論(基礎)（講）				
第 10 回	呼吸理学療法総論(病態学)（講）				
第 11 回	呼吸理学療法各論(急性期)①(講)				
第 12 回	呼吸理学療法各論(急性期)②(演)				
第 13 回	呼吸理学療法各論(慢性期)①(講)				
第 14 回	呼吸理学療法各論(慢性期)(演)				
第 15 回	呼吸理学療法の実際(演)				
評価方法	講義期間中に單元ごとにまとめテストを4回行い、本テストまたは再テストの平均が70%を超えた場合を合格とする。				
教科書 参考図書	〔教科書〕 「標準理学療法学 内部障害理学療法」 医学書院 配布資料				
履修上の 留意点	呼吸循環系の解剖学や生理学について、復習しておくこと。				
メッセージ	受け身ではなく「自発的に学んでいく、疑問点を追及していく姿勢」を大事にしてください。				